

## 企業版ふるさと納税の概要

企業版ふるさと納税は、国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。

損金算入による軽減効果（寄付額の約3割）と合わせて、令和2年度税制改正により拡充された税額控除（寄付額の最大6割）により、最大で寄付額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が約1割まで圧縮されます。



**例**  
企業版ふるさと納税制度を活用して1,000万円寄附をすると…  
**最大約900万円**の法人関係税が軽減

- ①法人住民税  
寄付額の4割を税額控除（法人住民税法人税割の20%が上限）
- ②法人税  
法人税住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除 ※ただし、寄付額の1割を限度（法人税の5%が上限）
- ③法人事業税  
寄付額の2割を税額控除（法人事業税額の20%が上限）

**制度活用にあたっての留意事項**

- 1回当たり10万円以上の寄附が対象
- 寄附を行う代償として経済的な利益を受けることは禁止  
例：×寄附の見返りとして補助金を受け取る  
×寄附の代償として有利な利率で貸し付けをしてもらう
- 本社が所在する地方公共団体への寄附については、本制度の対象外  
※この場合の本社とは、地方税法における「主たる事務所又は事業所」を指します。  
例：A県B市に所在する場合は、A県とB市への寄附は本制度の対象外
- 次の都道府県、市区町村については、本制度の対象外  
i 地方交付税の不交付団体である都道府県  
ii 地方交付税の不交付団体であって、その全域が地方拠点強化税制における地方活力向上地域以外の地域に存する市区町村(※)  
※首都圏整備法で定める既成市街地・近郊整備地帯など

## 企業版ふるさと納税を活用するメリット

地方創生に取り組む地方公共団体に対し、企業版ふるさと納税として寄附を行う メリットとして、次のことが挙げられます。

- ① 地方創生に貢献する企業として公表・PR
- ② 地方公共団体とのパートナーシップの構築
- ③ SDGsへの貢献を通じた企業価値の向上

※SDGs の17のゴールのうち「11 住み続けられるまちづくりを」が地方創生に深く関連するだけでなく、亀山市の取組は、その他のゴールに関連するものが多くあります。

## 企業版ふるさと納税の活用実績

### 和田保育園保育室増設事業

- 総事業費 89,735千円
- 事業期間 令和3年度～令和4年度
- 寄付金額 非公表
- 寄付企業 丸一株式会社
- 関連するSDGsゴール

**事業の概要・成果**  
子育て世帯の就労状況の変化等を背景に、特に低年齢児（0～2歳）の保育需要が高まっています。企業版ふるさと納税制度を活用し、和田保育園において保育室の増設を行い、令和5年度当初の0～2歳児の受け入れ可能児童数を拡大することができ、待機児童の解消につなげることができました。

### アプリdeウェルネス推進事業

- 総事業費 21,300千円 (R6:4,500千円)
- 事業期間 令和5年度～
- 寄付金額 非公表
- 寄付企業 株式会社セントラル富士観光株式会社
- 関連するSDGsゴール

**事業の概要・成果**  
健康寿命の延伸に向け、これまで紙媒体で実施していた「かめやま健康マイレージ」事業を、より幅広い世代の人が参加しやすいものにするため、スマートフォンアプリ「健康マイレージ」を活用して市民の健康活動を推進する「アプリdeウェルネス推進事業」へリニューアルし、令和5年9月1日から運用を開始しました。

### 公園施設長寿命化事業

- 総事業費 167,000千円
- 事業期間 平成29年度～
- 寄付金額 非公表
- 寄付企業 丸一株式会社
- 関連するSDGsゴール

**事業の概要・成果**  
市が管理する公園施設の老朽化が顕在化しており、公園施設長寿命化計画の対象である亀山公園・西野公園・東野公園において、機能保全を図ります。令和5年度は、企業版ふるさと納税制度を活用し、亀山公園わんぱく広場内にある複合遊具およびローラーライダー等を更新し、インクルーシブの考え方を取り入れた遊具広場の整備を進めることができました。

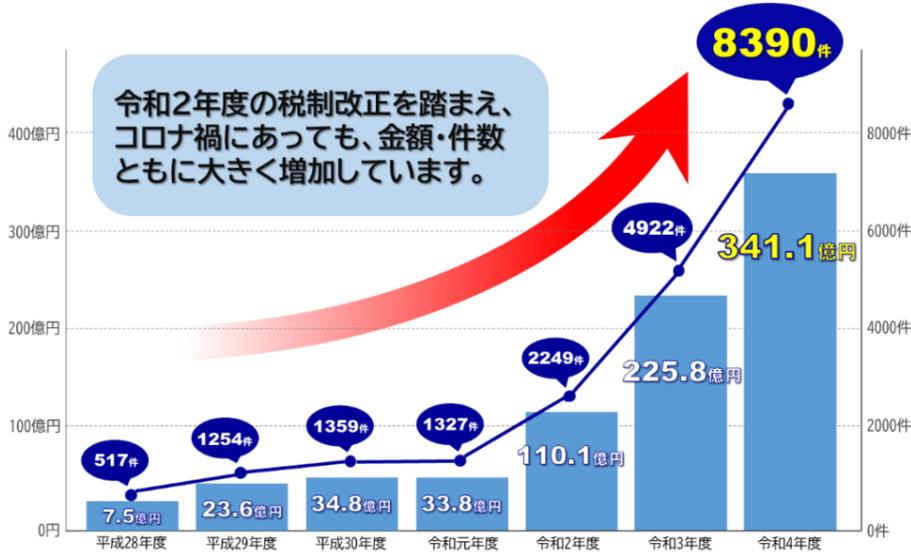
## 企業版ふるさと納税を活用できる事業

令和6年度では、企業版ふるさと納税制度を活用できる事業として、次の事業・取組を実施しています。

第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略における基本目標	事業・取組	事業費(千円)
I 活力ある働く場をつくる	亀山ブランド推進事業	7,605
	ニホンザル等獣害対策事業	31,089
II 亀山へのひとの流れとつながりをつくる	石水溪キャンプ場バンガロー施設前トイレの改修	18,100
	地域まちづくり協議会支援事業	31,412
	市民活動応援事業	8,587
	市制施行20周年記念事業	8,239
III 出産・子育てを支え、未来を担うひとを育てる	民間保育所等整備事業	356,390
	福祉医療費助成事業（子ども）	213,000
IV 魅力や価値を高め、選ばれるまちをつくる	健康都市大学創設・運営事業	5,800
	アプリdeウェルネス推進事業	4,500
	がん患者支援事業	2,182
	アーバンスポーツ環境の整備	5,000
	東海道街道環境整備事業	62,000
	関宿重伝建選定40周年記念事業	2,683
	かめやま文化年事業	19,870
	地域防犯カメラ設置支援事業	2,000
庁舎建設基金積立事業	100,000	
窓口入力支援システムの導入	4,176	

## 全国の寄附実績の推移

平成28年度の制度創設以来、令和元年度を除き、寄附額・件数ともに毎年度増加しています。令和4年度の寄附実績は、金額が前年度比約1.5倍の約341.1億円、件数が約1.7倍の8,390件となり、金額・件数ともに大きく増加しています。



## 企業版ふるさと納税の活用

亀山市では、第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、持続可能性を保ち、住み、働くことのできる、暮らしたいまちの実現に向け、次の取組を推進しています。

- ① 活力ある働く場をつくる事業
- ② 亀山へのひとの流れとつながりをつくる事業
- ③ 出産・子育てを支え、未来を担うひとを育てる事業
- ④ 魅力や価値を高め、選ばれるまちをつくる事業

本市の地方創生に関連する取組にご賛同いただき、企業版ふるさと納税制度を活用のうえ、ご支援いただきますようお願いいたします。

## 亀山市ってどんなところ？

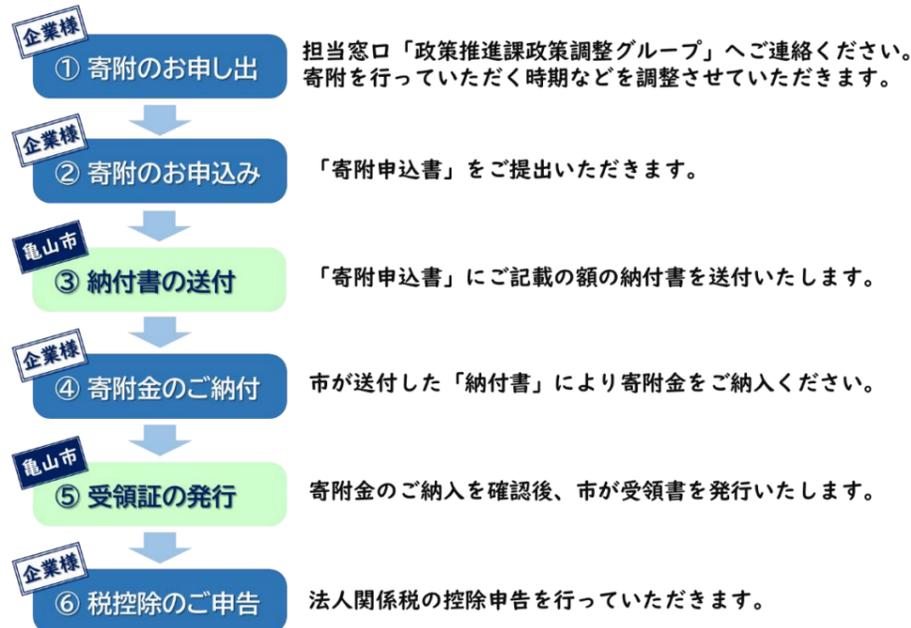
豊かな自然環境という土台に、充実した子育て施策、自然と繋がりが生まれるコミュニティが折り重なり、安心して、健やかに暮らすことができるまちです。



また、三重県内の主要都市である鈴鹿市・津市・四日市市に近く、アクセスに優れ、閑静なまちに住みながら市街地まで車で30分以内なので、実はとても住みやすく通勤にも便利です。

◆亀山市の人口・世帯数（令和6年1月1日現在）  
総人口：49,298人 世帯数：22,366世帯

## 寄附申込から申告までのながれ



詳しくは、政策推進課政策調整グループまでお問い合わせください。  
☎0595-84-5123 ✉seisaku@city.kameyama.mie.jp

## 企業版ふるさと納税のご案内

